

平成23年度
実施事業

事務事業名	各種がん検診料金助成金
-------	-------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	006	事業開始年度 平成 13 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 国民健康保険特別会計

部 名	保健福祉部	グループ名	国民健康保険G
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	がんの早期発見、早期治療を目指すことを目的とします。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>各種がん検診等を受診した被保険者に対し、次のとおり自己負担分を助成した。 助成額は肝炎検査1,100円、胃がん検診2,900円、子宮頸部がん検診1,700円、乳がん検診、2,200円か1,900円(50歳以上)、肺がん検診(X線)600円、肺がん検診(喀痰)600円、大腸がん検診1,100円、前立腺がん検診1,100円、女性(39歳以下)の健康診査1,500円</p> <p>【事業実績】(3月末時点) 肝炎検査：66人・胃がん検診：430人・子宮頸部がん検診：304人・乳がん検診：332人(内50歳以上42人)・肺がん検診(X線)：1,170人・肺がん検診(喀痰)：10人・大腸がん検診：852人・前立腺がん検診：752人・女性(39歳以下)の健康診査：17人</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	がんの早期発見・早期治療、医療費の削減につなげるためにも事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	6,260	5,059	4,905	4,905	4,905
一般財源	名称	千円					
事業費 合計			6,260	5,059	4,905	4,905	4,905

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	がんに係る1人当り医療費を全道平均以下にする(H23年5月レプト分析：上段が道・下段が当市)疾病分類20分類の新生物より	円	目標値	3,318	4,689	4,689	4,689	4,689
			実績値	4,175	5,587			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
負担割合：本人自己負担額は0円 受診数の増加	今後も受診しやすい負担割合で継続していく。 特定健康診査と同時実施可能など広報折込パンフレットにて周知を行っている	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	がん検診を多くの人が受けられるよう受診しやすい環境づくりが重要なため、市が検診料金を助成することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	がんの早期発見・早期治療につながるため必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	市が検診料金を助成する必要がある。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	H23年5月レポート分析で1人当たり医療費は全道平均以下だが、自覚症状なく検診でがんが見つかり治療につながった方の声もきかれており成果を感じられる。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価			《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	がんの早期発見・早期治療につながるため、事業を維持していく。	

行政評価会議による評価			《Check》
維持	備考		